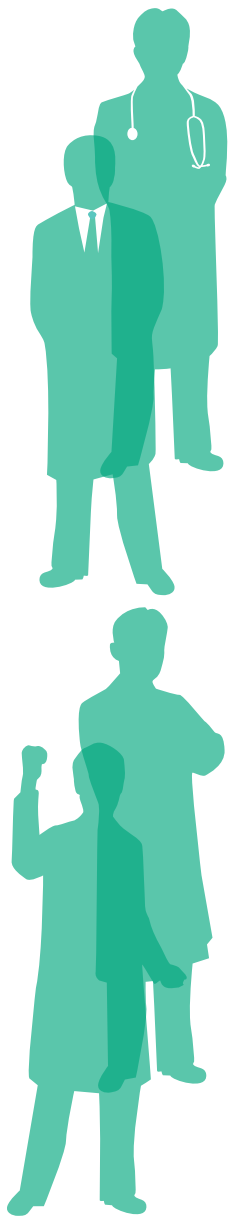


「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」とは？



文部科学省『多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン』事業のひとつとして、九州の10大学(九州,福岡,久留米,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,琉球大学)が連携して行うプロジェクトです。

これまで10年にわたって連携体制を築き、九州内のがん医療専門職の教育に取り組んできました。現在は、日本のがん医療において新たに注目されている分野、「がんゲノム医療」、「希少がん」、「小児・AYA世代がん」、「ライフステージに応じたがん対策」の課題を解決する人材を育成すべく、大学院教育を中心としたさまざまな取り組みを行っています。今回の市民公開講座は、北部エリアである、九州,福岡,久留米,大分の4大学が共同で運営しています。

今後も皆さまのご指導・ご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

<北部エリア> コーディネーター教員

九州大学:九州連携臨床腫瘍学 教授 馬場 英司

福岡大学:腫瘍・血液・感染症内科学 教授 高松 泰

久留米大学:外科学 主任教授 赤木 由人

大分大学:腫瘍・血液内科学 教授 白尾 國昭

関連展示 美術館1階・アトリウム
オンコロジー・オン・キャンパス
—がんとともに生きる—

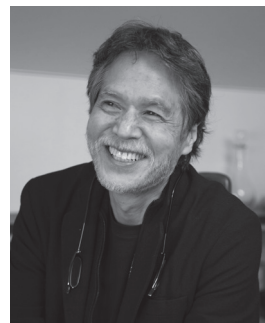
日本イーライリリー(株)は、人々がより長く、健康で充実した生活を実現できるよう、医薬品の開発等を通じて、がんをはじめ様々な領域で日本の医療に貢献しています。「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」とは、同社が行う、がんと診断された方、その家族・友人を対象とした絵画・写真・絵手紙のコンテストであり、今回、同社の協力の下、これまでの応募作品の中から数点をお借りして展示いたします。

がんと告知された時の不安、がんと共に生きる決意、がんの経験を通して変化した自身の生き方など、言葉だけでは伝えきれない想いを、ぜひ展示を通して感じていただければ幸いです。

講演者略歴

駒形克己

造本作家・デザイナー



1953年静岡県生まれ。1977年渡米。ニューヨークCBS本社などでグラフィックデザイナーとして活躍後、1983年帰国。自身の子どもの誕生をきっかけに絵本を制作。以後多数の絵本を出版。その活動は世界へと広がり、展覧会やワークショップが世界各地を巡回。2001年視覚障がい者に向けた本「折ってひらいて」「LEAVES」が、フランス国立近代美術館ポンピドーセンターより発行。近年ではニューヨーク近代美術館 MoMAより「パズルブック」が、また作品集「LES LIVRES DE ... KATSUMI KOMAGATA」がフランスより出版される。2000年・2010年・2016年イタリア・ボローニャ RAGAZZI賞 優秀賞、2002年スイス国際児童図書賞(F.E.E.)特別賞、2006年GOOD DESIGN・ユニバーサルデザイン賞(九州大学病院小児医療センター病棟の環境デザイン)、2007年GOOD DESIGN賞(つみ木)他、受賞多数。

2012年急性リンパ性白血病を発病し翌2013年に骨髄移植を受け、同年4月に退院し仕事へ復帰。2013年小海町高原美術館にて、また2014年にはイタリア、ボローニャにて展覧会「駒形克己展—THINK PAPER」を開催。同年より立教大学兼任講師、女子美術大学特別招聘教授を兼務。後進の指導にあたる。また駒形克己のドキュメンタリー番組がWOWOWより放映され、2014年国際エミー賞にノミネート。現在に至る。

大分県立美術館(OPAM)までのアクセス

〒870-0036 大分市寿町2番1号
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分
大分ICから車で10分

